

III: 鎌倉時代(幕府の成立・鎌倉文化・鎌倉仏教)

名前 _____

基本問題

- ① 源頼朝と対立して姿を隠した弟の義経をとらえることを口実に、頼朝は1185年に国ごとにXを、荘園や公領ごとにYを置くことを朝廷に認めさせた。XとYに入る語句は何か、書きなさい。
- ② 1192年、源頼朝は征夷大将軍に任命された。源頼朝が開いた幕府は何とよばれるか。
- ③ 将軍と主従関係を結んだ武士のことを何というか。
- ④ 将軍が武士に対して先祖代々の土地を保護したり、手柄に応じて新たな領地を与えることを何というか。
- ⑤ 将軍に忠誠を誓った武士が、京都や鎌倉の警備をする義務を負い、そして戦いが起きた時には命を懸けて将軍のために戦うことを何というか。
- ⑥ 頼朝の死後、北条氏は将軍を補佐する役職についた。この将軍を補佐する役職を何というか。
- ⑦ 京都で院政を行っていた後鳥羽上皇は、1221年に朝廷の勢力の回復をはかけて挙兵した。この朝廷と幕府の戦いを何というか。
- ⑧ 承久の乱に勝利した幕府は、朝廷を監視しながら西国(西日本)の武士を支配するために京都に置いた機関を何というか。
- ⑨ 1232(貞永元)年、執権の北条泰時が裁判を公平に行うための基準を御家人に示すための法律を定めた。この法律を何というか。
- ⑩ 同じ田畠で1年の間に、米と麦などの作物を交互に栽培することを何というか。
- ⑪ 東大寺南大門にある、運慶や快慶らの仏師がつくった像は何とよばれるか。
- ⑫ 琵琶法師によって語られ、源平内乱による平家一門の没落を描いた軍記物語は何とよばれるか。
- ⑬ 後鳥羽上皇が藤原定家に編集させた和歌集を何というか。
- ⑭ 鴨長明によって書かれた隨筆を何というか。
- ⑮ 兼好法師によって書かれた隨筆集を何というか。
- ⑯ 鎌倉新佛教に関して、下の表1のA~Dにあてはまる人物名や宗派を書きなさい。

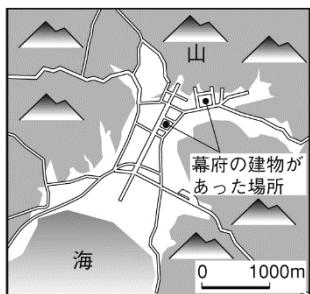
表1

| 宗派 | 浄土宗 | B | 時宗 | 日蓮宗 | C | 曹洞宗 |
|------|-----|-----|------|-----|-----|-----|
| 開祖 | A | 親鸞 | 一遍 | 日蓮 | 栄西 | D |
| 主な寺院 | 知恩院 | 本願寺 | 清淨光寺 | 久遠寺 | 建仁寺 | 永平寺 |

| | | | | | | | | |
|---|---|--|---|--|---|--|---|--|
| ① | X | | Y | | ② | | ③ | |
| ④ | | | ⑤ | | ⑥ | | ⑦ | |
| ⑧ | | | ⑨ | | ⑩ | | ⑪ | |
| ⑫ | | | ⑬ | | ⑭ | | ⑮ | |
| ⑯ | A | | B | | C | | D | |

発展問題

資料 1



(道路は幕府がおかれた時代の主要道路)

資料 2

みなの者、心して聞きなさい。これが最後の言葉です。今は亡き頼朝公が朝廷の敵を倒し、幕府を開いてから、官職や領地などを与えたその御恩は山より高く、海より深いものです。感謝の気持ちは浅くないはずです。名誉を大切にしようと思う者は、幕府を最後まで守りなさい。（吾妻鏡）

資料 3



- ① 源頼朝が幕府を開いた鎌倉は、現在どの都道府県にあったか、書きなさい。
- ② 源頼朝は、朝廷から無断で官位を受けた自身の弟を、奥州藤原氏とともに滅ぼした。頼朝が滅ぼした弟はだれか、書きなさい。
- ③ 守護と地頭は、それぞれどのような所に置かれたか。
- ④ 源頼朝が鎌倉に幕府を開いた理由を、資料 1 を参考にして書きなさい。
- ⑤ 源氏の将軍が3代で途絶えると、ある一族が執権として幕府を運営するようになった。このように、執権政治をおこなったある一族は何とよばれるか。
- ⑥ 1221年に、幕府を倒して朝廷の勢力を回復しようと承久の乱を起こした上皇はだれか。
- ⑦ 承久の乱が起きたとき、資料 2 のような演説をして御家人たちの結束を訴えた、源頼朝の妻であった人物はだれか。
- ⑧ 承久の乱後、幕府が六波羅探題を設置した目的を簡潔に書きなさい。
- ⑨ 承久の乱後、幕府の支配はどのように広がりましたか。資料 3 を参考にして書きなさい。
- ⑩ 1232年に、幕府は御成敗式目を制定した。このときの執権はだれか。
- ⑪ 1232年に幕府が御成敗式目を制定した目的を書きなさい。
- ⑫ 鎌倉文化とはどのような文化であるか。「武士」という語を入れて書きなさい。
- ⑬ 鎌倉時代に生まれた新しい仏教は、なぜ多くの人々に広まったのか。その理由を書きなさい。

| | | | | | | |
|---|---|---|--|---|----|----|
| ① | | ② | | ③ | 守護 | 地頭 |
| ④ | | | | | | |
| ⑤ | 氏 | ⑥ | | ⑦ | | |
| ⑧ | | | | | | |
| ⑨ | | | | | | |
| ⑩ | | ⑪ | | | | |
| ⑫ | | | | | | |
| ⑬ | | | | | | |